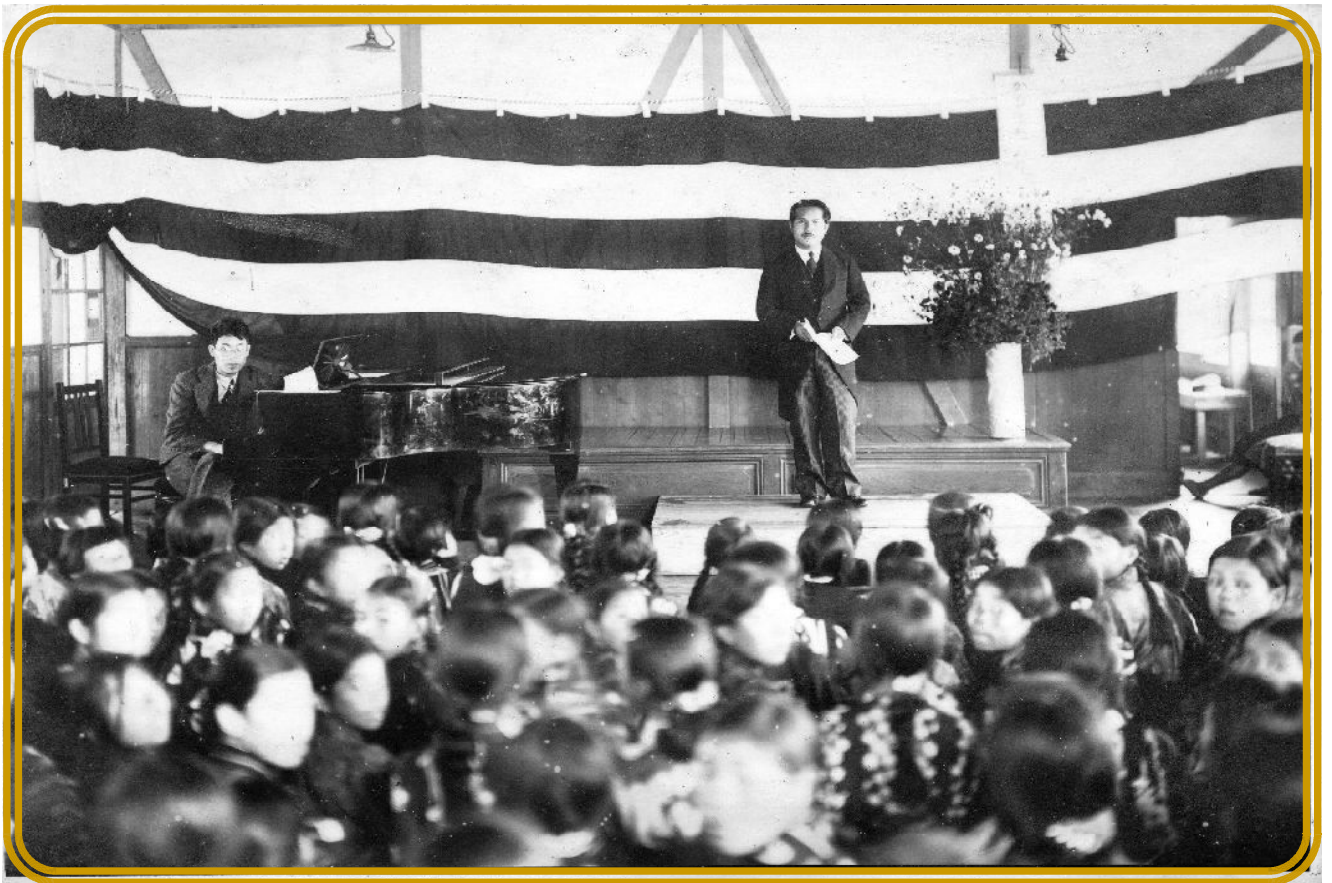


# 寒川文書館だより

Vol. 8



寒川尋常高等小学校のグランドピアノ披露式（昭和2年）

## ■ 第8号目次

資料紹介	2
広報ビデオの保存活用／寒川の先人たち	3
第8回企画展「寒川町公民館の50年」	4
収蔵庫の資料から（5）	5
文書館 最近のできごと	6・7

第8号  
2010.9.30  
寒川文書館

## <資料紹介>寒川尋常高等小学校のグランドピアノ披露式

——写真が語る寒川村のモダニズム——

(真田歌子さん所蔵)

二枚の写真がある。

これらは2010年8月20日、寒川町の70周年記念誌を編集するために真田歌子さん宅を訪れ、聞き取りに応じていただいたとき、説明をうけた写真のうちの二枚である。

冒頭ページの写真正面に立つのは、藤沢生まれでバリトン歌手の徳山<sup>たまき</sup> 璣である。徳山は1931年(昭和6)ビクター専属の歌手としてデビューし、40年には国民歌謡「隣組」で一世を風靡した。歌子さんの父、寒川町長となった喜一の逗子開成中学校時代の同級生であった。

左上のグランドピアノの前で座っているのは、のちにピアニストになる高木東六である。徳山の東京音楽学校(いま東京芸術大学)時代の友人であった。

ところでグランドピアノは歌子さんによれば、祖父の喜三郎が寒川尋常高等小学校(寒川小学校)に寄贈したものである。いつの寄贈であるのかは明らかでない。しかも、この写真がいつ撮られたのかも、不明である。

だが、その手がかりをえられる場面が、この2ページ写真である。

左端は、寒川小学校の校長、清水善茂である。清水が30年(昭和5)9月15日、厚木の荻野小学校に転任したので、それ以前の時期と考えてよい。

しかも、右端の高木が東京音楽学校を中退してフランスに遊学したのは28年末で、帰国するのは32年である(高木東六『とうろく らぶそでい』中公文庫版299ページ)。

高木の左が徳山、一人おいて加藤丘之助、

隣の白っぽい洋服が喜一、その隣は玉園健一である。加藤、玉園は寒川小学校の教諭で、加藤が28年度に他校に転出したので、27年度のことであろう。

27年(昭和2)といえば、その9月に寒川小学校第三校舎に3教室が増築された。それを祝ってのグランドピアノ寄贈とその披露式がおこなわれたと考えられる。したがって、この写真の前面に菊が三輪置かれているので、グランドピアノ披露式は現時点では27年の秋のことと判断する。

式の当日、どのような曲が歌われたのかは不明である。だが、歌われる前後の場面で、着物姿の生徒がカメラに向かってふり返り、徳山と高木は落ち着きはらっているのがおかしさと呼ぶ。

敗戦後のあるとき、寒川小学校はこのグランドピアノを売却し、その代金で何台かのオルガンを購入する。そのことを承諾してほしいと真田家に伝えられた。

(内海 孝)



# 広報ビデオの保存活用

寒川町では平成11年度から21年度まで広報番組を制作し、ケーブルテレビで町の話題を町民に提供してきました。10分程度の映像に2分程度のテロップ情報を加えたもので、毎月1本、11年間で132本の番組を制作しました。このうち、平成17年度までに制作された84回分のVHSテープが、担当の広報情報課から文書館へ移管されています。

文書館ではVHSの劣化に備え、平成21年度にDVDへバックアップする作業を実施しました。DVDに焼き付けるとともに、パソコンでも閲覧できるよう、AVIファイルにも変換しました。

しかし、いまのところ文書館閲覧室の端末では動画が閲覧できるようになっていません。この貴重な映像資料を、今後どのように活用するか、インターネット配信なども含めて検討してまいります。



移管されたVHSテープ



変換後のDVDディスク

## シリーズ 寒川の先人たち

### 第7回：『寒川神社志』の編さん—菟田 茂 丸—

う だいかしまる

明治末期の寒川神社宮司です。明治5年(1872)1月、福岡県遠賀郡高倉村(現在の岡垣町)に生まれ、埼玉県の水川神社祢宜や埼玉県神職取締所副所長などを経て、40年7月に寒川神社宮司に着任しました。

44年3月に広島県福山市の沼名<sup>ぬなくま</sup>前神社宮司に転任するまでの間、宝物縦覧会の開催、「神社由緒古墳」とされた大(応)神塚古墳の発掘、「寒川神社事歴年表」や『寒川神社志』の編さんなどを積極的に行いました。これらは、神社の文書や記録が失われたことにより、祭神についても異説が多くあるなど、明確な由緒・沿革が伝わっていなかった寒川神社の歴史的事跡を明らかにし、広めるためのものでした。

著書に『沼名前神社由来記』、『榎原の遠祖』などがあります。

(渡辺真治)



寒川神社志

## <第8回企画展>

# 寒川町公民館の50年

寒川町公民館は、昭和35年(1960)2月、寒川小学校東側に開館しました。以来50年間にわたって、町民生活になくてはならない施設となってきましたが、平成22年(2010)3月末をもって休館しました。

そこで、50年間の町民の思い出のたくさん詰まった公民館の足跡をご紹介します。



寒川町公民館(平成22年1月撮影)



公民館の建物(昭和30年頃)

## 一之宮にあった公民館

寒川町の公民館は、昭和24年に一之宮の寒川中学校敷地内で産声をあげました。「詩人町長」真田喜一が推進した文化施策の一環として、初代館長・加藤丘之助のもと、先進的で充実した講座を展開しました。

## 寒川小学校の隣へ

昭和35年2月、公民館は寒川小学校東側へ新築移転し、新たなスタートを切りました。

## 公民館の事業

公民館は、さまざまな講座を実施しました。また、新生活運動の高まりのなか、公営結婚式の会場としても利用されました。



公民館の結婚式(昭和39年)



成人式(昭和41年)

## さまざまな集いの場

公民館は社会教育事業のほか、町民の集いの場として、さまざまな用途に使われました。

【展示期間】平成22年3月7日(日)～8月31日(火)

## 収蔵庫の資料から (5)

文書館の収蔵庫には、皆様から寄贈や寄託していただいた貴重な記録資料や写真をはじめ、寒川の歴史を物語るさまざまな資料を保存しています。今回もその一端をご紹介します。いずれも閲覧できますので、ご希望の方は気軽にカウンターにお申し出ください。

### 三沢誠家文書



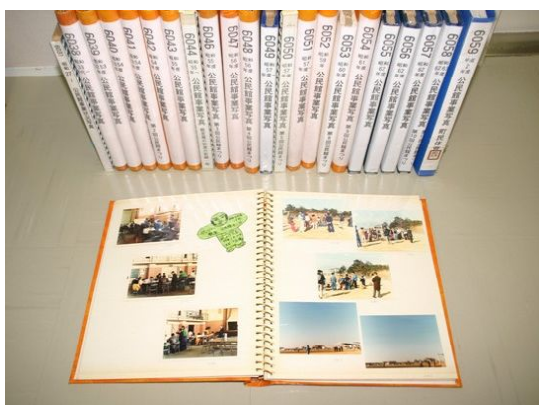
寒川町青年団の機関誌「寒青新聞」をはじめ、定期大会や講習会資料など、寒川町および神奈川県青年団協議会に関する資料があります。

### 倉見大村地神講文書 (寄託)



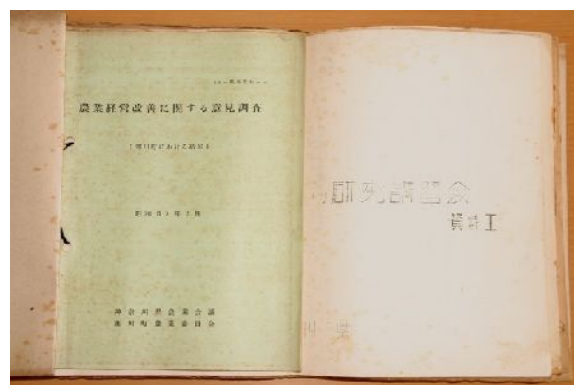
平成7年(1995)、講の当番より寄託。大村の地神講では講の開催時に掛け金を出し合い当選者を決める無尽が行われていましたが、その様子を示す資料が残されています。

### 公民館事業記録写真



公民館の休館にあたり文書館に移管されました。昭和27年から平成2年の間に撮影された写真1,828枚が、23冊のアルバムにまとめられており、往時の公民館のにぎわいが伝わってきます。

### 丸山清氏寄贈文書



神奈川県農業改良普及員として永年寒川町の農業の指導に尽力してきた丸山清氏が、関係資料を1冊に綴ったものです。昭和30年代の農業のようすを示す講習会の資料や農協の事業計画書・報告書などがあります。

# 文書館 最近のできごと

## ■資料保存活用講演会「未来に伝えよう公民館の記録」 3月7日(日)



元藤沢市文書館長・高野修さんをお招きして、資料保存活用講演会を開催しました。この日から始まった企画展「寒川町公民館の50年」の記念講演と位置づけたもので、寒川文書館に移管された昭和20年代から40年代にかけての約100点の公民館の公文書の評価してもらった内容でした。この公文書から何がわかるのか、なぜ公文書を保存することが必要なのか、具体例を挙げてお話いただきました。公民館の休館を惜しむ参加者が多く来場し、終了後の質疑も活発におこなわれました

## ■町史研究第23号・調査報告書17を発行 3月31日(水)



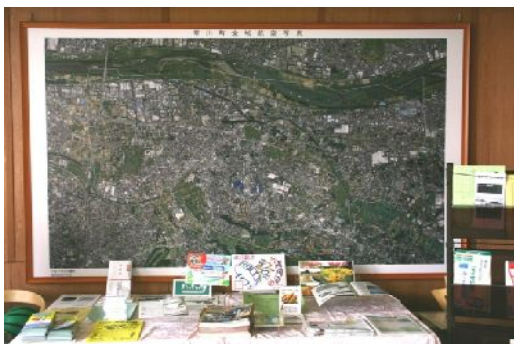
平成21年度の町史刊行物は標記の2冊です。町史研究の特集は「目久尻川と花川用水」。昨年11月に開催した町史講座の記録や関連史料の翻刻を中心に掲載しました。調査報告書のテーマは「浜降祭日記(3)」です。昭和5年から14年まで10年間の浜降祭の記録を翻刻しました。この編集にあたっては、16名のボランティアの皆さんに原稿作成の協力を得ることができました。どちらも文書館窓口で販売中です。詳しくはお問い合わせ下さい。

## ■ミニ展示「アーカイブズの記念日」を開催 6月4日(金)～7月31日(土)



ミニ展示は、文書館入口のエレベーターホール等を利用して、主に文書館の仕事のPRやホットな話題を提供する企画です。今回は、公文書館法の施行(1988年)、国際アーカイブズの日の制定(2008年)、公文書管理法の成立(2009年)がいずれも6月であることから、それぞれの概要について紹介するパネルを作成しました。あわせて、まだ市町村の公文書館があまり普及していない現状を訴える内容も盛り込むことができました。

## ■観光情報発信基地「面白がって町づくり」へ資料貸出し 6月9日(水)



7月1日、寒川総合体育館3階に、寒川町観光協会のアンテナショップ「面白がって町づくり」がオープンしました。町内の店舗が作る洋菓子やパン等を提供する喫茶室を核に、町の観光名所や特産品をPRする施設です。その開設準備のため、平成17年に撮影された航空写真のパネルを貸し出しました。150cm×245cmの大きなパネルは、壁面に据え付けられ、観光の振興に一役買うことになりました。

### ■学習院大学大学院のアーカイブズ実習 7月27日(火)～7月31日(土)



一昨年度に引き続き、学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻の学生1名が実習に来ました。7月と12月に1週間ずつ組まれたカリキュラムの前半は、現用文書の管理換え、フィルムの保存、ミニ展示の企画など、さまざまな業務を体験してもらいました。特にミニ展示は、実際に8月6日から開催する「しらべてみよう寒川のこと2」の企画立案からパネル作成までを手がけてもらうもので、実に緊張した面持ちで取り組んでいました。

### ■福岡県からの視察 7月30日(金)



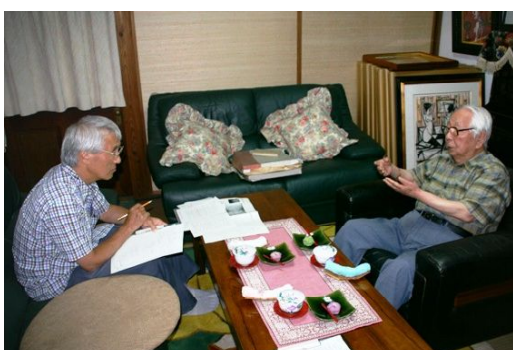
福岡県は、全国初となる県と市町村が共同で設置・運営する公文書館を、平成24年度に開館すべく準備を進めています。その運営に関する調査研究のため、担当者6名が視察に来館しました。とりわけ、寒川文書館における歴史的公文書の評価選別の方法や、講演会・講座・企画展などの普及活動の取り組み状況などについて詳しく知りたいとのことでした。まずはその旨をお話させていただき、そのあと実際に施設を見学をしていただきました。

### ■寒川高校のインターンシップ 8月18日(水)・19日(木)



県立寒川高校1年生3名がインターンシップとして2日間、文書館の業務を体験しました。古文書の保存箱に防虫剤を入れる作業、行政刊行物の重複のチェック(写真)、写真プリントの整理など、おもに収蔵庫内での作業に取り組んでもらいました。後日寄せられた礼状に、防虫対策の仕事が最も印象的だったと書いた生徒がいました。段ボール箱の上げ下ろしがたいへんだったことありますが、資料保存の大切さを若い世代に理解してもらえたのは、私たちにとっても成果でした。

### ■70周年記念誌の聞き書き調査 8月12日(木)・20日(金)



町制施行70周年を記念した冊子を編集中です。戦中・戦後の寒川を牽引した初代・広田孝基と4代・真田喜一の2人の町長の事績にスポットをあてる内容となります。幸い、広田孝基の長男・孝平さん、真田喜一の長女・耿子さんにお話を伺うことができました。町長の人となりについて、家族ならではの視点でそれぞれ教えていただくことができたので、誌面におおいに反映できそうです。本号の表紙に載せたピアノの披露式の写真とエピソードも、この時の調査の成果です。

## 今後の事業予定

### ■開催中の展示のお知らせ

#### 第9回企画展「寒川町の70年」

寒川町は平成22年11月で満70歳を迎えます。これを記念して、町ができた昭和15年(1940)当時のようす、70年間のできごと、町章や町の花・木・鳥などの成立過程などについて、たくさんの写真や公文書等をパネルにご紹介します。

会期 平成22年9月5日(日)～23年2月27日(日)

### ■町史講座を開催します

町制施行70周年記念事業の一つとして、次の講演会を開催します。ふるってご参加ください。

○日時 平成22年11月6日(土)午後1時30分

○会場 町民センター視聴覚室

○テーマ 「日米開戦と寒川－寒川町ができたころ－」

○内容 町制施行の昭和15年(1940)当時のようすを、日本や世界の動向も交えながら、やさしく解説します。

○講師 内海孝氏

(寒川町史編集委員・東京外国語大学教授)

○資料代 50円

○申込み 会場へ直接お越し下さい。

## 編集後記

寒川文書館だより第8号をお届けします。

上記でもご紹介しましたとおり、寒川町は町制施行70周年を迎えます。記念誌の発行、企画展の開催、町史講座の開催、記念式典でのスライド上映と、文書館も記念事業をいくつか実施します。

これらの事業は、公文書や個人蔵文書など、先人が作り、そして大切に残してくれた記録資料があってはじめて開催できるものです。いま私たちはこれらの資料のおかげで過去を振り返ることができますが、未来の人たちも同じように振り返りができるよう、資料をバトンタッチしていかなければなりません。文書館はこうした大事な責務を担っています。

## ホームページもごらんください

ホームページでは文書館からのお知らせ、所蔵資料のご案内のほか、さまざまなコンテンツをご提供しています。ぜひいちどアクセスしてみてください。

ホームページアドレスは右の通りです。

## 利用案内

### ■開館時間

火曜～金曜日 午前9時～午後7時

土・日・祝日 午前9時～午後5時

### ■休館日

月曜日(国民の祝日にあたる場合は開館)

年末年始(12月29日～1月3日)

特別整理日(決まり次第お知らせします)

### ■交通のご案内

JR相模線 寒川駅下車 徒歩10分

寒川町コミュニティバス 図書館文書館前下車 徒歩1分

※なるべく公共交通機関か自転車、徒歩でお越しください。



### 寒川文書館だより 第8号

平成22年9月30日

編集・発行／寒川文書館

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1

TEL 0467-75-3691 FAX 0467-75-3758

ホームページ <http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

電子メール [bunshokan@town.samukawa.kanagawa.jp](mailto:bunshokan@town.samukawa.kanagawa.jp)